



DISTRICT 2500

# OBIIHIRO

## ROTARY CLUB

No. 2785

第3103回例会

平成20年2月27日

2007-08年度国際ロータリーのテーマ／ROTARY SHARES(ロータリーは分かち合いの心)

方針 誠心誠意

会長 奥 周盛



**プログラム**  
**ゲスト卓話**  
伊達市企画財政部 住んでみたいまちづくり課課長  
鎌田 衛様  
**基調講演**  
**テーマ「伊達がなぜ好景気なのか？」**  
~官民協働による住み易さとまちの魅力向上への施策展開～ウェルシーランド構想～



はじめにテレビ放映を流していく  
だいて大変光栄です。ありがとうございます。さて、強力なリーダーシップで伊達市をリードする菊谷市長は現在57歳、伊達市で一番大きな建設会社のご出身です。過去には大きな負債も抱えたそうですが、市長曰く、有珠山の火山特需で持ち直したとのことです。

31歳で市議となり、3期務めましたが、その間、時の市長とは市の財政再建で厳しく対決し、ついに4期目には自ら市長選へ出たところ、198票差で負けてしまいました。その4年後の平成11年の市長戦で勝利し現在に至っています。

当時の伊達市は、財政が厳しい、借金が多い、公債の償還負担が重い、お金がないので新規事業に着手できない、など非常に厳しい状況にありました。建設業界の代表として市長に選ばれたわけですから、支持者からは公共事業の期待があったそうです。しかし、市にお金がない以上、従来型の景気対策はできず、何か工夫できないかとあらためて真剣に考えたのです。伊達市の人口構成比は、60歳以上の方が30%を占めます。そこで高齢者が安心で安全で元気で楽しく暮らしてもらい、活気が出てくる、移住者も増える、それらが税金ではなくビジネスとして成立させられないか、という方向へ向かうきっかけとなりました。また、平成13年に東京で、経営コンサルタント、大学教授、経営者などが勉強会を開いており、市長もオブザーブ参加を

したところ、勉強会のテーマが「ウェルシータウン構想」だったそうです。すなわち、これからの街づくりは、従来型の高齢者福祉、たとえば高齢者にタクシチケットを一律配布、といったものではなく、高齢者に安全で安心で優しく暮らしてもらうためにできることは何か、高齢者が求めているものを事業として民間でやっていけないか、ビジネスとして成り立たないか、という全く逆の発想でした。

そこで、市長と志を共にする伊達信金理事長らの協力を得て伊達市で研究会を発足させることになりました。この研究会が大きな効果を生み出すことになるのですが、それは民も市もメンバーを50歳未満に限定したからです。30～40才代の若い世代がこうしてみたい、こんなことはできないか、と民のメンバーと市の職員が同世代、同レベルで論議したからこそ、様々なアイデアが出てきたと思います。

例えば、“安心ハウス”は市ではなく民間で建ててもいい、それを伊達市長が安心で安全な施設と認定することにしました。民間からは市の認定により2000万の広告効果があると評価されています。また“愛のりタクシー”も民間でやってもらっていますが、事業としてはまだ改善の余地があります。さらに、宅地造成でも市が認定基準を作つて分譲していますが、こちらは全53区画中31区画に予約があり順調です。4月に完成予定です。このように、市長が安心で安全だと認定することで、民間の事業でありながら大きな信頼が得られ事業として成り立つという構図ができつつあります。

平成14年に発足した研究会も平成16年に協議会に発展させ今日に続いています。その間、地価上昇が全国1位となりマスコミに注目されることになりましたが、伊達だけがすごい取り組みをしたわけではありません。北海道では雪が少ない、氷点下10度以下になることもないといった恵まれた気候と、半径2キロ以内に全ての施設が存在していたことから“コンパクトシティ”と呼ばれ、結果としてこの8年間で2000人の移住者があったということです。

この厳しい時代に人口を減らさず、高齢者が別の世界に行ってしまうまでできるだけ長く暮らせるような取り組みを行政と民間とで進めていきたい、そのためにも若い世代の民と市の交流をさらに深めていけるような場を残りの行政人生を使って作っていきたいと考えています。ご静聴ありがとうございました。

#### パネルディスカッション



#### 会長報告



#### 奥 周盛 会長

本日の例会は、伊達市から鎌田衛課長をゲストにお迎えし、また、帯広市から政策推進部の本迫哲部長をはじめ7名のご出席をいただきました。

通常はクローズドなロータリーの例会ですが、今日はいつもとは雰囲気が違い、オープンな反面、少し緊張も走る例会ですが、外部の方に日常の活動を見ていただく良い機会だと思っています。

今年度の社会奉仕委員会は、地域政策つまり「まちづくり」を事業に取り上げました。

各委員長の職業を並べると、医療・保健、公共交通、住宅産業という具合で、これだけ揃えば、まちづくりの話題に取組める。と考えた皆さんの着眼点に感服ました。

ロータリークラブの社会奉仕としては、これまでにないユニークな事業であります。私はタイムリーなテーマを捉えた事業であると思います。と言いますのは、一つには、新聞等の報道でもご承知のとおり、帯広市の人口が、今年の1月末時点で169,895人と、17万人を割りました。これまで順調に推移してきた帯広の人口が初めてマイナスに転じました。

二つ目は、現在帯広市では、平成22年にスタートする新しい総合計画の策定中と聞いてあります。当クラブにも審議会委員が何名かいらっしゃいます。

新しい総合計画では、これまで人口増加を前提とした、第5期までの総合計画とは、考え方を大きく変えなければならないでしょう。

少子高齢化の時代にあって、地域政策のベースとな

る人口は、自然増（人が生まれた、死んだ）が望めず、社会増（人の移動）に期待がかかるのですが、今その社会増につながる地域の戦術が求められています。

今年度の社会奉仕委員会が取組んだ事業が、少しでもまちづくりのお役にたち、多くの会員が地域の未来に关心をお寄せいただければ、幸いです。

#### 会務報告

松島 隆 副幹事

#### (1) 第6分区IM開催のご案内

日 時 平成20年3月2日 (日)

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

会議次第 13:00より 登録開始

13:30 開会式

14:20 特別講演第1部

黒岩 彰 様

カルガリーオリンピック500m銅メダリスト

元 西武ライオンズ球団代表

16:00 基調講演第2部

真田 正樹 様

帯広水泳協会副会長

十勝地区障害者水泳懇話会代表

現職 帯広市子供未来図

青少年課青少年センター指導員

16:40 閉会式

17:30~19:00 懇親会（友情の宴）

#### (2) 帯広南RC、移動繰上げ例会開催のご案内

日 時 平成20年3月2日 (日) 正午

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

尚、3月3日（月）の繰上げ例会と致します。

#### (3) 帯広東RC、繰上げ例会開催のご案内

日 時 平成20年3月2日 (日) 正午

場 所 帯広ワシントンホテル

尚、3月4日（火）の繰上げ例会と致します。

#### (4) 帯広北RC、繰上げ例会開催のご案内

日 時 平成20年3月2日 (日) 午前11時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

尚、3月7日（金）の繰上げ例会と致します。

#### (5) 帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 平成20年3月11日 (火) 午後6時30分

場 所 クラブ ウインザー

#### (6) 帯広RC、夜間移動例会開催のご案内（創立記念例会）

日 時 平成20年3月12日 (水) 午後6時

場 所 クラブ デルタ

次週プログラム予定

「ゲスト卓話」 (ローターアクト委員会)

ローターアクトクラブの皆様



例会日 / 水曜日 12:30~13:30 例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL 0155-24-1234

創立 / 昭和10年3月15日 認証番号 / 3820 戦後再開 / 昭和25年12月19日

事務局 / 帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL 0155-25-7347 FAX 0155-28-6033

発行 / クラブ会報 委員長 / 野村 一仁・佐藤 瞳浩・宇佐美暢子・神谷 昭典・薦井 秀則

増田 正二・櫻井顕一郎

ホームページアドレス / <http://www.tokachi.co.jp/obihiro-rc/>

